

8. 専門研修プログラムの施設群について

(専門研修基幹施設)

徳島大学形成外科が専門研修基幹施設となります。(研修プログラム責任者：1名、指導医：3名、症例数：約950例)

(専門研修連携施設)

徳島大学形成外科専門研修プログラムの施設群を構成する連携病院は以下の通りです。専門研修連携施設は、診療実績基準を満たす必要があります。

- ・徳島県立中央病院形成外科 (指導医：1名、症例数：約550例)
- ・徳島赤十字病院形成外科 (指導医：2名、症例数：約1,200例)
- ・田岡病院形成外科 (指導医：2名、症例数：約800例)
- ・徳島県鳴門病院形成外科 (指導医：1名、症例数：約400例)
- ・高松市民病院形成外科 (指導医：1名、症例数：約700例)
- ・四国こどもとおとなの医療センター形成外科 (指導医：1名、症例数：レーザー治療を含めると約900例)
- ・松山赤十字病院形成外科 (指導医：1名、症例数：約550例)
- ・HITO病院形成外科 (指導医：1名、症例数：約550例)
- ・高知赤十字病院形成外科 (指導医：2名、症例数：約500例)
- ・高知医療センター形成外科 (指導医：2名、症例数：約600例)
- ・旭川赤十字病院形成外科 (指導医：1名、症例数：約700例)
- ・山口大学医学部附属病院 形成外科 (指導医：1名、症例数：約800例)

※ 徳島大学グループ全体の症例数は、約10,000例

(研修連携候補施設)

- ・柏厚生総合病院形成外科

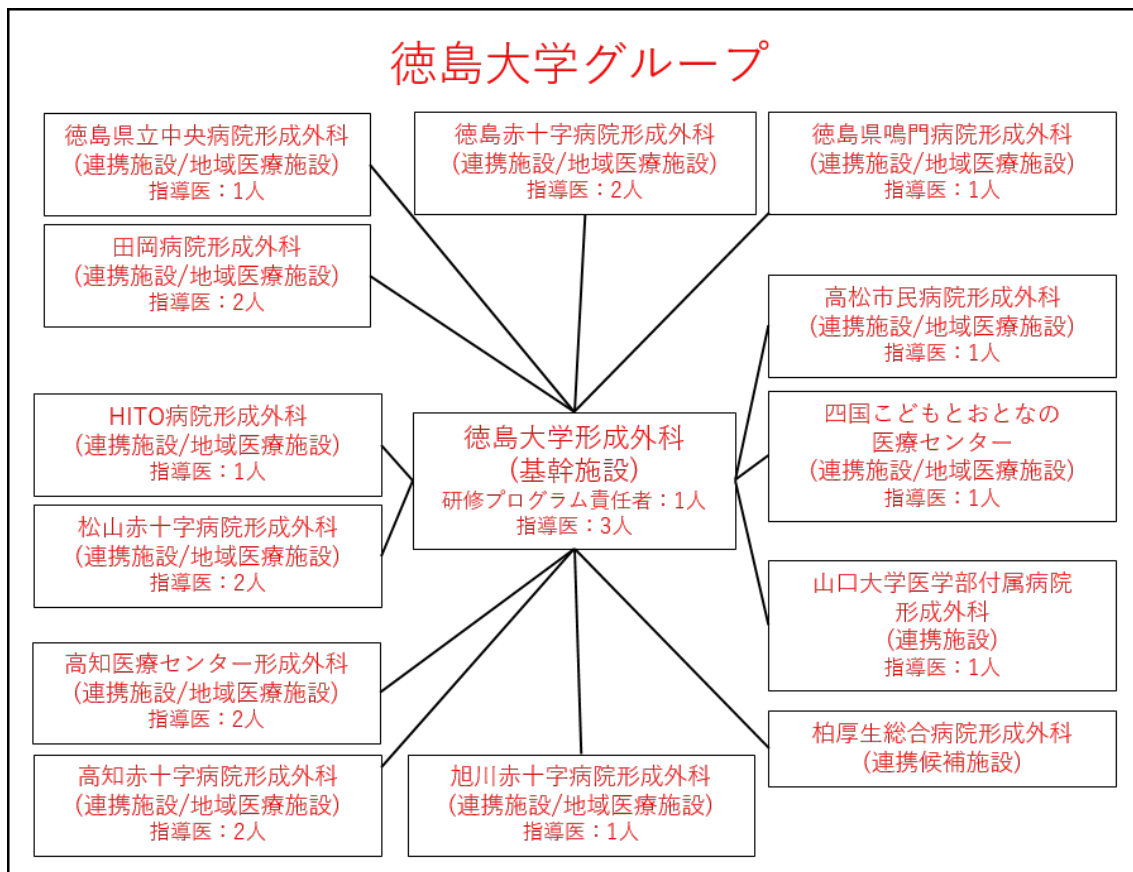
(地域医療研修施設)

- ・徳島県立中央病院形成外科
- ・徳島赤十字病院形成外科

- ・田岡病院形成外科
- ・徳島県鳴門病院形成外科
- ・高松市民病院形成外科
- ・四国こどもとおとなの医療センター形成外科
- ・松山赤十字病院形成外科
- ・HITO 病院形成外科
- ・高知赤十字病院形成外科
- ・高知医療センター形成外科
- ・旭川赤十字病院形成外科

(専門研修施設群)

徳島大学形成外科と連携施設により専門研修施設群を構成します。



(専門研修施設群の地理的範囲)

徳島大学形成外科専門研修プログラムの専門研修施設群は徳島県、香川県、愛媛県、高知県の四国4県および北海道の施設群です。また施設群の中には、地域中核病院や地域中小病院も含まれます。

(専攻医受入数)

徳島大学グループ全体で、症例のデータベースをもとに1年間で専攻医の教育可能な人数を算出すると、最も効率的に行った場合で約5.8名です。しかし、施設ごとに症例数の偏りがあり、実際には5名までが1年間に教育可能な人数となります。

各病院の専攻医の年間有給雇用枠は、徳島大学形成外科：4名、徳島県立中央病院形成外科：1名、徳島赤十字病院形成外科：1名、徳島県鳴門病院形成外科：1名、田岡病院形成外科：1名、四国こどもとおとなの医療センター形成外科：1名、高松市民病院形成外科：1名、HITO病院形成外科：1名、松山赤十字病院形成外科：1名、高知赤十字病院形成外科：1名、高知医療センター形成外科：1名、旭川赤十字病院形成外科：1名、山口大学医学部附属病院皮膚科：1名であり、16名の有給雇用枠が確保されています。

指導医の数は徳島大学形成外科：3名、徳島県立中央病院形成外科：1名、徳島赤十字病院形成外科：2名、徳島県鳴門病院形成外科：1名、田岡病院形成外科：2名、四国こどもとおとなの医療センター形成外科：1名、高松市民病院形成外科：1名、HITO病院形成外科：1名、松山赤十字病院形成外科：1名、高知赤十字病院形成外科：2名、高知医療センター形成外科：2名、旭川赤十字病院形成外科：1名、山口大学医学部附属病院皮膚科：1名の計19名となります。

これらの事項より、徳島大学グループの専攻医受入数は1年間に最大5名となりますが、徳島大学グループ全体の症例数および指導医数は十分であるため、質・量ともに充実した研修を受けることができます。

なお、本プログラムにおける指導者の異動なども今後考えられますが、徳島大学においては今後4年間の間に6名が新たに指導医の資格を得る(専門医取得後1回の更新を行う)予定であるため、指導体制に不足は生じない見込みです。